

科目名	データ科学と社会 I	教員	栗原 俊之 【単独】	免許・資格 等との関係	保育士	選択	関係性が 最も強い 学修成果	① 豊かな人間性 広い見識	
					幼稚園教諭	必修		② 専門的知識 技能	
					小学校教諭	必修		③ 論理的思考力 情報活用能力	○
					中学校教諭 (英語)	必修		④ 表現力 コミュニケーション力	
					高等学校教諭 (英語)	必修		⑤ 使命感 教育的愛情	
					特別支援学校教諭			⑥ 地域社会の一員 としての自覚	
ナンバリングコード	26CMI-1019-2111101	年次	I 年前期		SPARC 教育プログラム	必修③		⑦ 広い視野に立った 課題解決力	
授業形態	講義				初等幼児教育専攻	必修		⑧ 創造的思考力 実践力	
授業科目の取扱い	遠隔授業科目	単位	I	卒業要件	英語教育専攻	必修			
教科及び教職に 関する科目	免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 (幼稚園・小学校・中学校 (英語)・高等学校 (英語))								
各科目に含める ことが必要な事項	教養科目								
授業テーマ	データサイエンス、AI、データリテラシー、ICT								
授業概要	現代ではデータ・AI の利活用が急速に進展し「超スマート社会」が現実になりつつある。 この授業では、データサイエンスを学ぶ意義を理解するとともに、その基礎となるデータリテラシー (データを的確に理解し、解釈し、分析する能力) を身に付けることを目標とする。								
到達目標	1. データサイエンスの概要とそれを学ぶ意義について自説を述べることができる。								
	2. データサイエンスの基礎となるデータリテラシーについて説明することができる。								
	3. パソコンやデータを適切に管理できる。								
	4. パソコンを用いて基本的なデータ分析ができる。								
履修条件、注意事項	連携開設科目								
授業計画								到達目標	授業方法
	1. はじめに							1, 3	同時双方向
	2. 社会で起きている変化							1	同時双方向
	3. 社会で活用されているデータ							1	同時双方向
	4. データ・AI の活用領域							1	同時双方向
	5. データリテラシーの概論、準備							2, 3, 4	同時双方向
	6. データを読む							2, 3, 4	同時双方向
	7. データを説明する							2, 3, 4	同時双方向
8. データを扱う							2, 3, 4	同時双方向	
アクティブ・ラーニング	ディスカッション								
成績評価基準	評価の方法：①レポート (70%)、②授業態度・授業への参加度 (30%)により、総合的に評価する。 評価の基準：①知識・理解：授業で取り上げた理論や知識を扱った問題に解答できる。 ②関心・意欲、態度：授業に意欲的に参加し、演習に取り組むことができる。								
フィードバックの方法	LMS(Moodle)を通じて行う。								
時間外の学習 について	予習：次回の授業で用いる資料を読むこと。資料を読んでわからない部分があれば、自分で調べてみる。 (各回 90 分程度) 復習：各回の授業内容が理解できているかを確認する。また、理解ができない部分をリストアップしておくこと。 (各回 90 分程度)								
教材に かわる情報	テキスト：書名：学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー 著者：FOM 出版 出版社：富士通エフ・オー・エム株式会社 ISBN13： 9784865103434 参考書：特になし 参考資料等：特になし								
実務経験を活かした 授業について									
担当者からの メッセージ等	同時双方向で講義と演習を行います。授業には各自のノートパソコンを持参して下さい。 授業で用いる主にソフトは、Word と Excel です。事前にパソコンにインストールを行っておいてください。 なお、パソコンの OS は Windows でも Mac でも構いません (iPad、Android や ChromeOS を搭載したタブレットやスマートフォンは不可)。ただし、メーカーのサポートが終了しているアプリケーションソフト (Word や Excel) や OS は利用できません。 Email：t-kurihara@yamaguchi-u.ac.jp (栗原) ：hkawamoto@y-gakugei.ac.jp (河本) ※SPARC 教育プログラム担当者								